

学校給食に使用する食材の放射能濃度検査結果（10月22日更新）

平成25年10月使用分

採取日	検査日	種類 (産地)	核種別放射能濃度 【Bq (ベクレル) /kg】		検査機関
			放射性セシウム 134	放射性セシウム 137	
9月19日	9月24日	ウインナーソーセージ 豚肉（千葉県・群馬県・ 栃木県）	不検出 (1.3 Bq/kg未満)	不検出 (1.2 Bq/kg未満)	川崎市 健康安全研究所
9月19日	9月25日	乾燥まいたけ (秋田県)	不検出 (1.4 Bq/kg未満)	1.5 Bq/kg	川崎市 健康安全研究所
9月19日	9月25日	さつま揚げ たら（オホーツク海） イトヨリダイ（タイ）	不検出 (1.7 Bq/kg未満)	不検出 (1.6 Bq/kg未満)	川崎市 健康安全研究所
10月8日	10月8日	牛乳 (神奈川県他)	不検出 (1.3 Bq/kg未満)	不検出 (1.2 Bq/kg未満)	川崎市 健康安全研究所
10月7日	10月9日	冷凍まぐろ角切 (南太平洋【インドネシア】)	不検出 (1.4 Bq/kg未満)	不検出 (1.2 Bq/kg未満)	川崎市 健康安全研究所
10月22日	10月22日	牛乳 (神奈川県他)	不検出 (1.5 Bq/kg未満)	不検出 (1.1 Bq/kg未満)	川崎市 健康安全研究所

*検査の結果、上記の食材はすべて国の基準値以下となっています。

*基準値以下の食材については、安全性は確保されています。

*今回、乾燥まいたけから放射性セシウム137が1kgあたり1.5ベクレル検出されましたが、10月に使用する分量は一人3gで、この量を人体に影響を与える実効線量として換算すると、0.000045マイクロシーベルト（10歳児対象）となります。

10月1日（火）の給食をまるごと検査しました。（幸区の小学校1校から採取）

当日の献立	採取数量	核種別放射能濃度 【Bq (ベクレル) /kg】		検査機関
		放射性セシウム 134	放射性セシウム 137	
まいたけごはん・牛乳・いかの吉野揚げ・みそ汁	1,420 g (2食分)	不検出 (1.0 Bq/kg未満)	不検出 (1.0 Bq/kg未満)	川崎市 健康安全研究所

*学校給食で提供したこの日の献立を検査した結果、放射性セシウムは検出されませんでした。

【参考】

- 食品衛生法上の新基準値（平成24年4月1日から）

放射性セシウムの新基準値	
食品群	基準値 単位：Bq (ベクレル) /kg
一般食品	100
乳児用食品	50
牛乳	50
飲料水	10

<問い合わせ先>
川崎市教育委員会健康教育課
電話 044-200-3296